



病児・病後児保育施設
キッズケア・すまいるぽっけ

ほけんだより 9月

令和7年 (0895) 45-0437



まだまだ日中残暑が厳しいですが、朝夕の風には秋の気配が感じられるようになってきました。1日の中の気温差が大きくなるこの時期は、体調を崩しやすいときです。毎日の体調の変化にご注意ください。

9月1日は「防災の日」、9月9日は「救急の日」です。いつ起こるか分からない災害に備え、避難場所の確認をしたり、非常持ち出し袋の中身をチェックしたり、急なけがや体調不良の手当てなど、この機会にけがを防ぐために気を付けることをご家庭で話し合ってみてはどうでしょうか。非常持ち出し袋や救急箱の中身も要チェックです！！



救急箱の中身、 チェックしてますか？

救急箱の中身に決まりはありません。普段使うものを、清潔な入れ物に入れておけばOKです。ただし、滅菌ガーゼや薬は使用期限がありますし、テープ類は古くなると粘着力が弱くなります。**1年に1回は中身をチェックしましょう。**

CHECK!

☐ 絆創膏

けがをした部位に合わせて
選べるよう、形やサイズをい
くつか用意しておくに便利。



☐ はさみ

救急箱専用にし
ておくとう衛生的で
安心です。



☐ 体温計



☐ ガーゼと
医療用テープ

傷口を保護したり、薬を
塗った上にかぶせたりして
使います。個包装の滅菌タ
イプが使いやすいでしょう。



☐ 毛抜きや
ピンセット

皮膚に刺さったと
げを抜いたりするの
に使います。



☐ 常備薬

(虫よけ、
かゆみ止め、
化のう止めなど)



交通ルールを守って、事故を防ぎましょう

駐車場も注意

事故は駐車場でも起こります。道路や駐車場など、車が多い場所では、必ず手をつないで歩く習慣をつけましょう。

1歳から14歳の子どもの事故で最も多いのは不慮の事故ですが、中でも交通事故は上位を占めます。交通マナーを守ることが、子どもの命を守ります。



自転車の死亡事故も多い

自転車に乗っているときの事故も増えています。スピードを出さない、曲がり角では停止するなど、自転車のルールもしっかり伝えましょう。

普段から交通ルールを 教えましょう

朝夕の送り迎えは、交通ルールを学ぶ大切な時間。横断歩道を渡ること、歩道から飛び出さない事、信号の意味など伝えましょう。



大人もルールを守りましょう

急いでいると信号を無視したり、道路を横切ったりしますが、子どもは見ています。みんなで交通ルールを守りましょう。



事故を招かない工夫をプラス！

大人が、子どもの事故を防ぐことも大切です。

- 道路の反対側から子どもを呼ばない
- 後部座席はチャイルドロック
- 道路で遊ばせない
- チャイルドシートやシートベルトを正しく使うなど、できることはたくさんあります。

